

出版ネッツ 関東支部 緊急寄り合い

**防衛省の情報操作と「記者クラブ」を問う!!
大臣記者会見にフリー記者はなぜ参加できないのか?!**

2019年3月20日(水) 19:00~21:00

報告者：三宅 勝久氏（フリージャーナリスト）

ゲスト：寺澤 有氏（フリージャーナリスト）

場 所：出版労連会議室B

文京区本郷4丁目37-18いろは本郷ビル2F 最寄り駅：本郷三丁目（丸の内線・大江戸線）

主 催：出版ネッツ関東支部

参加費：無料（出版労連組合員）、500円（前記以外の方）

防衛大臣の記者会見にフリージャーナリストが参加できないのはなぜか。

フリーを排除する上で記者クラブの果たしている役割とはなにか。

フリーを記者会見に参加させないことで日本社会にどのような影響があるのか。

これらの問題をテーマにした勉強会を3月20日午後7時から出版労連B会議室で行います。

報告者は出版ネッツ関東支部の三宅勝久氏（ジャーナリスト）、ゲストにフリージャーナリストの寺澤有氏をお招きし、この問題の根底に何があるかを探っていきます。

【概要】

海上自衛隊「補給艦ときわ」艦内で3等海尉が自殺していた事実を、2018年12月、寺澤氏が電子書籍『海上自衛隊が幹部間のイジメ自殺を隠蔽』において告発しました。艦長らの虐めや隠蔽工作が疑われる大事件です。そこで、寺澤氏や、後に三宅氏、複数のフリー記者が防衛大臣記者会見への参加を認めるよう防衛省に申し入れました。その結果、防衛省は「防衛省記者会が承諾すれば可能である」と回答しました。防衛省記者会に問い合わせると、同記者会も「参加可能」の意を示しました。ところが実際には、防衛省記者会は「入庁手続きについては防衛省に確認してほしい」などと言い始め、防衛省は明確な説明も回答もしないまま放置しており、フリーランスの記者は現在も参加できない状況が続いています。

「記者クラブ」と官庁が連携した情報操作の様子がよくわかる事件です。日本の「言論」と「報道」は本当に自由なのか、このままでいいのか、ともに考えたいと思います。多くの方のご参加をお待ちしています。

【本件に関する問い合わせ先】

totch@media-paradigm.co.jp

出版ネッツ関東支部事務局 奥平等（おくだいらひとし）

または、070-5573-5805（三宅電話番号）